

8月の展示の準備を行いました

8月3日（土）から始まる「もっと知ろう！原三溪—原三溪市民研究会 10年の足跡—」展の準備を行いました。展示するものはパネル約30枚で、メンバーが5つの班に分かれて原稿作成を担当しています。それらの原稿案を1枚ずつプロジェクターで投影して読み上げながら、会員みなで内容を確認していきました。事実関係は正しいか、よりふさわしい図版はないか、などと意見交換を行うなかで、特に盛り上がったのは1920（大正9）年の第二次帝国蚕糸（株）や横浜興信銀行（現横浜銀行）の設立のところでした。原富太郎が苦勞した点について、会員たちがまるで当時を見てきたかのように遠慮なく意見を交わす様子に、見学に来ていた横浜美術館の広報担当やNHK横浜放送局の西岡さんが驚いていました。



この日の会場は波止場会館



パネル原稿を壁に投影して確認します



NHKの西岡さんが注目しています